

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預金、貯金、未収入金、前払費用、仮払金、貯蔵品、立替金、預け金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	1,185,978,990	1,372,455,314
未収入金	155,156,220	155,710,727
前払費用	250,080	162,350
仮払金	0	16,500
貯蔵品	2,390,000	2,760,000
立替金	4,629,984	4,383,982
預け金	20,000	20,000
合 計	1,348,425,274	1,535,508,873
未払金	111,233,213	112,466,033
前受金	7,379,262	7,379,262
預り金	9,543,820	133,141,693
合 計	128,156,295	252,986,988
次期繰越収支差額	1,220,268,979	1,282,521,885

3. 予備費の使用及び予算の流用

(1) 予備費の使用

予備費は、電子証明事務特別会計において、ソフトウェアのシステム改修に係る「認証システム購入支出」の支出額3,850,000円に充当するために使用した。

(2) 予算の小科目間流用

【一般会計】

- ①「公益活動対策部費支出」155,273円の予算不足額を「成年後見支援センター費支出」から流用した。
- ②「国際税務情報研究会費支出」552,962円の予算不足額を「税制審議会費支出」から流用した。
- ③「税務相談事業費支出」145,911円の予算不足額を「デジタル相談事業費支出」から流用した。
- ④「AOTCA助成金支出」7,900円の予算不足額を「成年後見制度助成金支出」から流用した。
- ⑤「器具備品購入支出」464,223円の予算不足額を「ソフトウェア購入支出」から流用した。

【会館特別会計】

- ⑥「修繕工事費支出」7,509,260円の予算不足額を「維持管理費支出」から流用した。

【電子証明事務特別会計】

- ⑦「雑支出」220,867円の予算不足額を「維持管理費支出」から流用した。